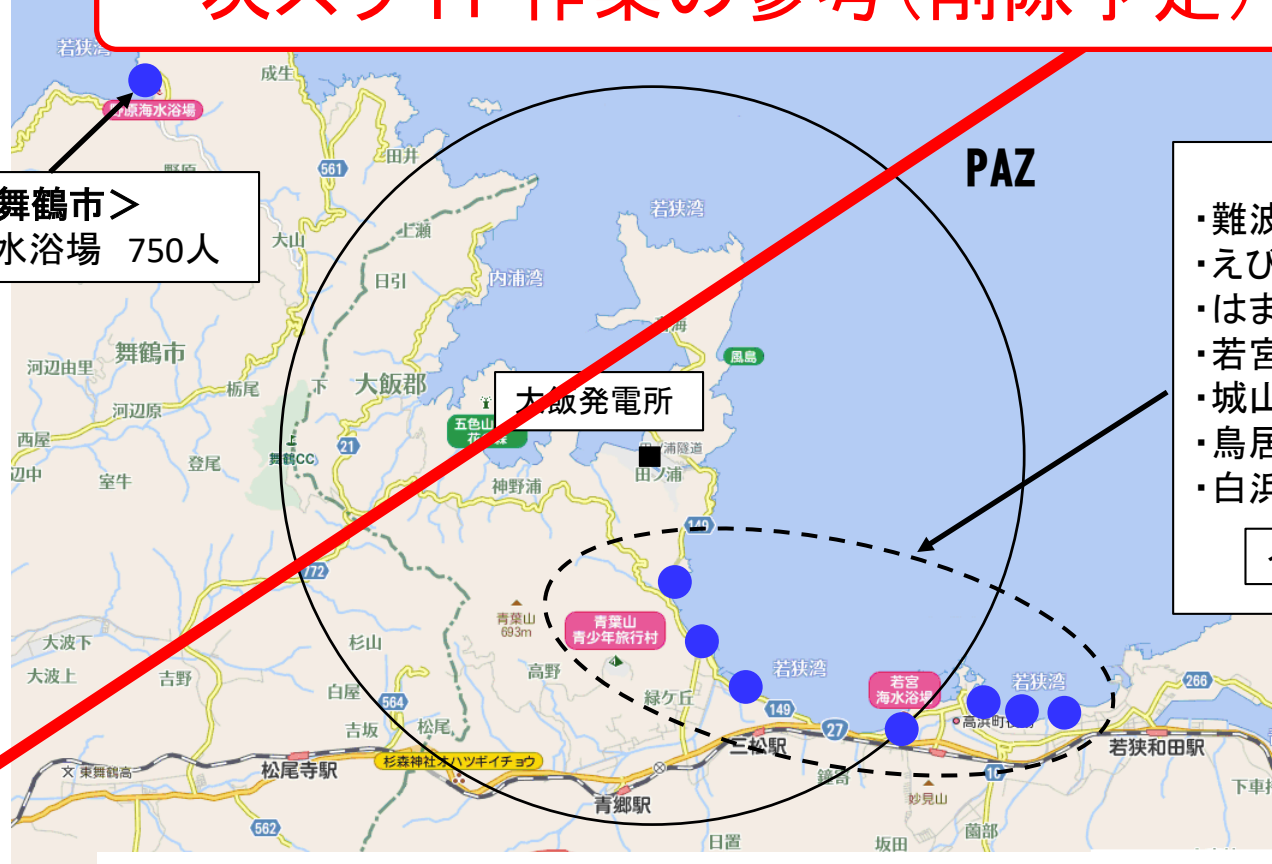


PAZ圏内の海水浴場及び入場者の数【P】

- 大飯町ではPAZ圏内に海水浴場が7か所あり、平成26年度シーズンの1日あたりの最大入込客数は約5,350人。
- 大飯町の海水浴客の交通手段は、対象となる海水浴場周辺の駐車場利用率によると全体の約9割が自家用車利用で、残りの1割が貸切バス及び公共交通機関を利用。(平成26年度観光客入込調査大飯町)
- 舞鶴市ではPAZ圏に準じた避難を行う地域に海水浴場が1か所あり、1日あたりの想定最大入込客数を約750人と

次スライド作業の参考(削除予定)



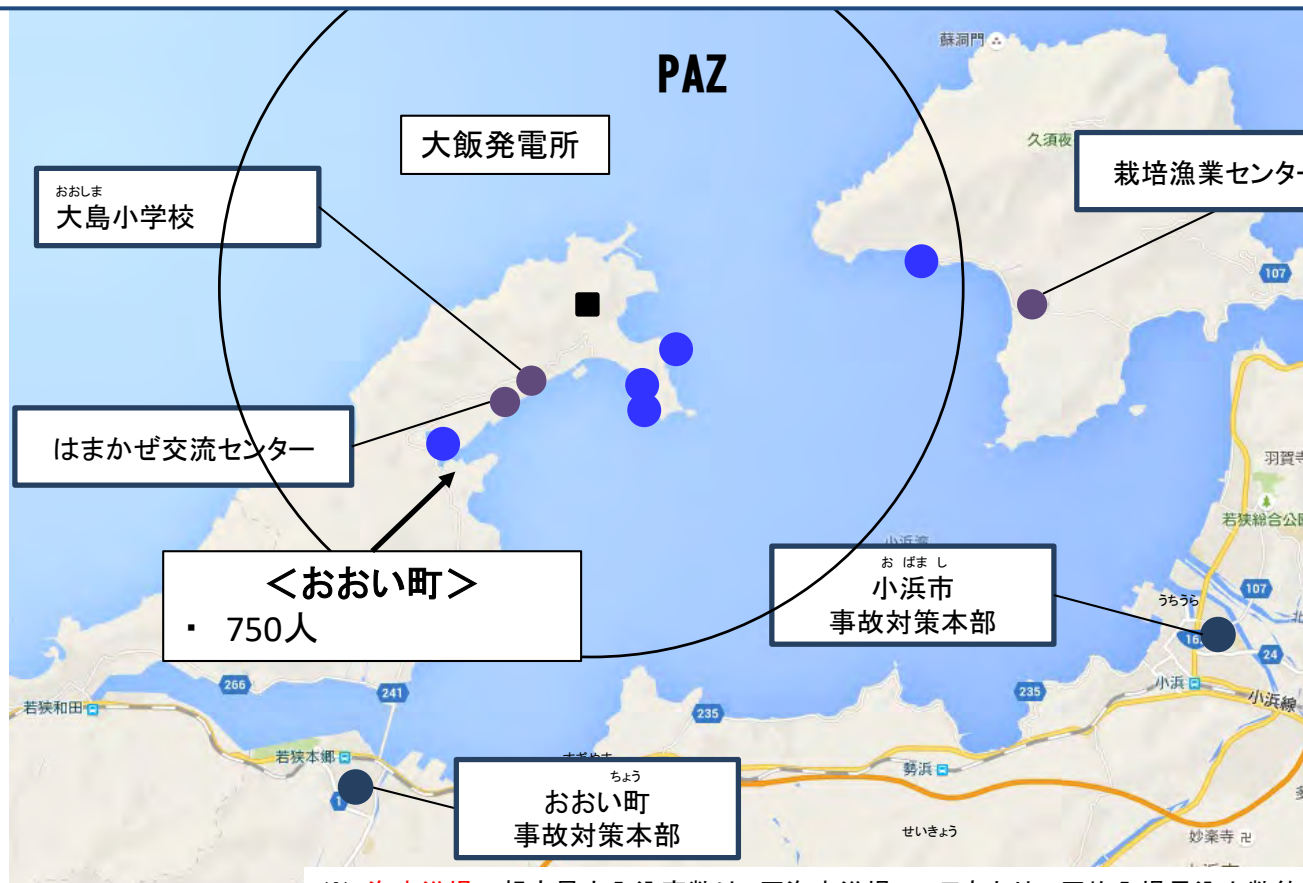
＜舞鶴市＞
・野原海水浴場 750人

| ＜大飯町＞ | |
|-----------|---------------|
| ・難波江海水浴場 | 500人 |
| ・えびす浜パーク | 300人 |
| ・はまなすパーク | 1,000人 |
| ・若宮海水浴場 | 400人 |
| ・城山海水浴場 | 1,000人 |
| ・鳥居浜海水浴場 | 350人 |
| ・白浜海水浴場 | 1,800人 |
| 合計 | 5,350人 |

※ 野原海水浴場の想定最大入込客数は、同海水浴場の1日あたりの平均入場見込人数約150人に、大飯町の海水浴場における、一日あたりの最大入込人数と平均入込人数との比率を乗じて試算。

PAZ圏内の海水浴場及び入場者の数【P】

- おおい町及び小浜市ではPAZ圏内に海水浴場がxヶ所あり、平成26年度シーズンの1日あたりの最大入込客数は約xxxx人。
- おおい町及び小浜市の海水浴客の交通手段は、対象となる海水浴場周辺の駐車場利用率によると全体の約x割が自家用車利用で、残りの1割が貸切バス及び公共交通機関を利用。(平成26年度観光客入込調査 おおい町、小浜市)



| ＜おおい町＞ | |
|-----------|---------------|
| ・難波江海水浴場 | 500人 |
| ・えびす浜パーク | 300人 |
| ・はまなすパーク | 1,000人 |
| ＜小浜市＞ | |
| ・鳥居浜海水浴場 | 350人 |
| ・白浜海水浴場 | 1,800人 |
| 合計 | 5,350人 |

※ 海水浴場の想定最大入込客数は、同海水浴場の1日あたりの平均入場見込人数約150人に、おおい町の海水浴場における、一日あたりの最大入込人数と平均入込人数との比率を乗じて試算。

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者、海水浴場から避難する一時滞在者、合計約xxxx人分:バスxx台。
- 各事業所の従業員の避難方法については各事業所単位で周知(施設敷地緊急事態で、自家用車により帰宅)。

| | 想定対象人数 [※] | 必要車両台数 | 備考 |
|-----------------|---------------------|------------|---|
| 自家用車での避難ができない住民 | xx人 | xx台 | 1台のバスが複数箇所をまわり乗車 1台当り45人程度の乗車を想定 【資料Pxx】 |
| 観光施設から避難する一時滞在者 | 約593人 | xx台 | バス1台当り45人程度の乗車を想定 自家用車や観光バスで来場している 者がいる場合は、その分必要車 両台数は減少【資料Pxx】 |
| 海水浴場から避難する一時滞在者 | 約xx人 (xx人×0.1) | xx台 | バス1台当り45人程度の乗車を想定 1日あたりの海水浴客約xx人のう ち、約9割が自家用車で訪問してい る(『平成26年度観光客入込調査 大飯町』)ことを踏まえ、その1割を 想定対象人数として算入。 【資料Pxx】 |
| 合計 | 約xx人 | xx台 | |

※ 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難

- 全面緊急事態発生時には、福井県丹南地方たんなんのバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転手については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

| | | 確保車両台数 | 備考 |
|------------|-----------------------------------|-------------------|--------------|
| | | バス | |
| (A) 必要車両台数 | | xx台 | |
| (B) 確保車両台数 | | 計xx台 | |
| 確保先 | バス会社[福井県丹南地方] <small>たんなん</small> | xx台 ^{※1} | 保有車両台数 バスxx台 |
| | 関西電力 | xx台 | 保有車両台数 バスxx台 |

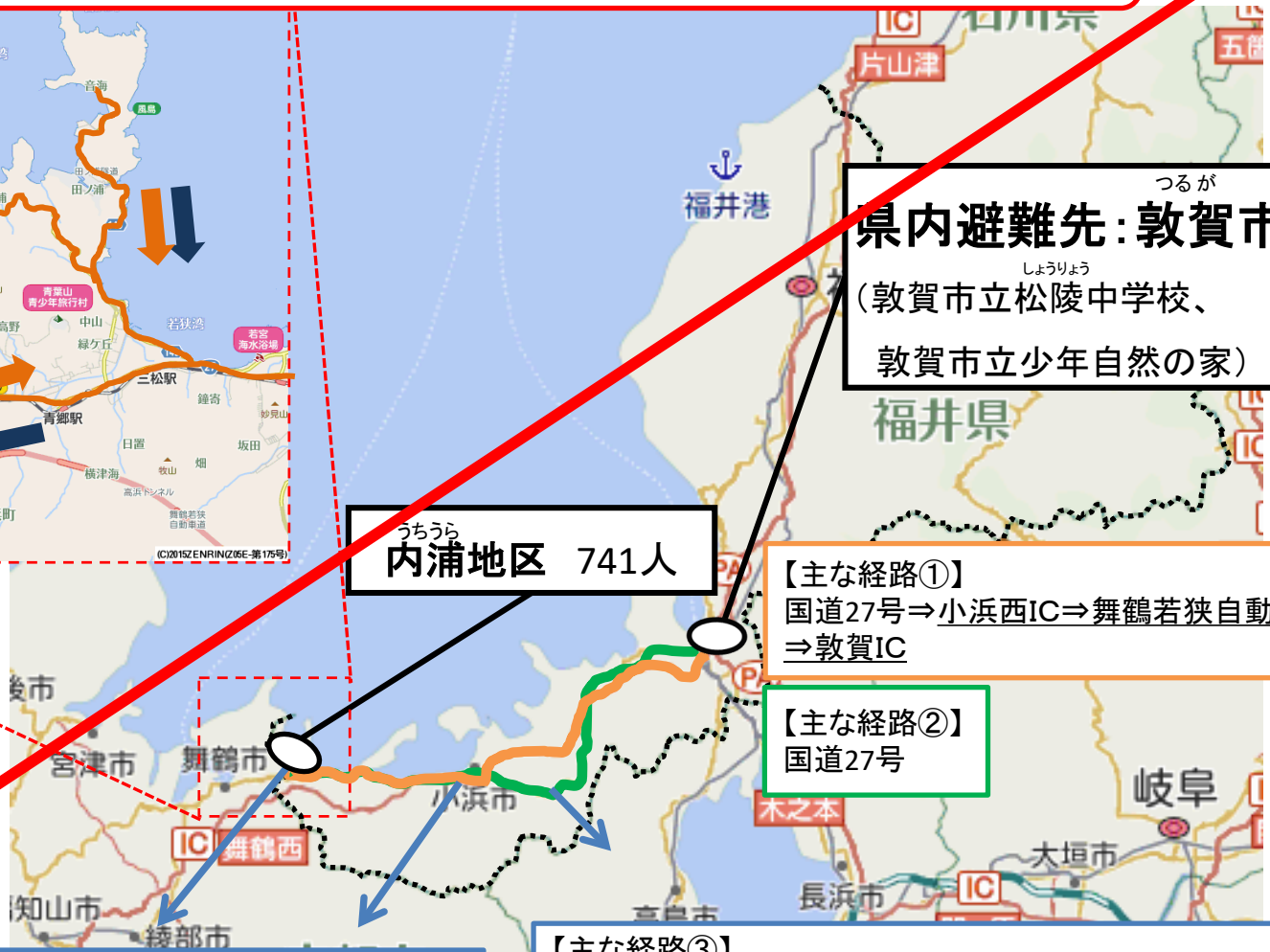
※1 福井県原子力防災訓練(平成26年度)の実績を参考に、バス会社保有台数のうち1/4程度の出動を見込む

※2 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(自衛隊、警察、消防、海保庁)に支援を要請

PAZ圏内3地区から避難先施設までの主な経路（内浦地区）

➤ 自然災害等により避難経路が使用できない場合を想定して、予め複数の経路及び避難先を設定。

次スライド作業の参考(削除予定)



県内避難先: 敦賀市
しょうりょう
 (敦賀市立松陵中学校、
 敦賀市立少年自然の家)

【主な経路①】
 国道27号⇒小浜西IC⇒舞鶴若狭自動車道
 ⇒敦賀IC

【主な経路②】
 国道27号

県外避難先: 三田市 (駒ヶ谷運動公園)

【主な経路③】
 国道27号⇒府道28号⇒舞鶴東IC⇒舞鶴若狭自動車道
 ※その他代替経路として、国道303号、府道・県道1号(小浜綾部線)等を設定